

外装鉄板製曲面パネルの施工

山岸 嗣*
Akira Yamagishi

平下 茂行**
Shigeyuki Hirashita

日本電気(株)大月工場の外観は、宇宙的イメージから設計主旨が生まれているために、あたかも UFO の母船を想像させるものとなっている。

そのために4階から5階にかけての外装を曲面構成された銀色の鉄板製曲面パネルとする事によって、そのイメージを強く表現している。

以下に外装鉄板製曲面パネルの施工について報告する。

1. 工事概要

工事名称 日本電気株式会社大月工場新築工事
企業先 株式会社 日電工務センター
設計管理 株式会社 日建設計

規模 RC造5階建

建築面積 4,203m²

延床面積 19,754m²

工事場所 山形県大月市大月町真木字原平747

外装 1～4階 コンクリート打放し補修の上、吹付タイル

5階 鉄板製曲面パネル

曲面パネル仕様

施工 川崎重工業株式会社

材質 厚さ9mm (SS41) 鋼板

外面仕上 1. ケミプライマー塗装 1回 50μm

2. ケミフレック塗装 2回 250μm + 250μm

3. レタンNo2000シルバー塗装 1回 30μm

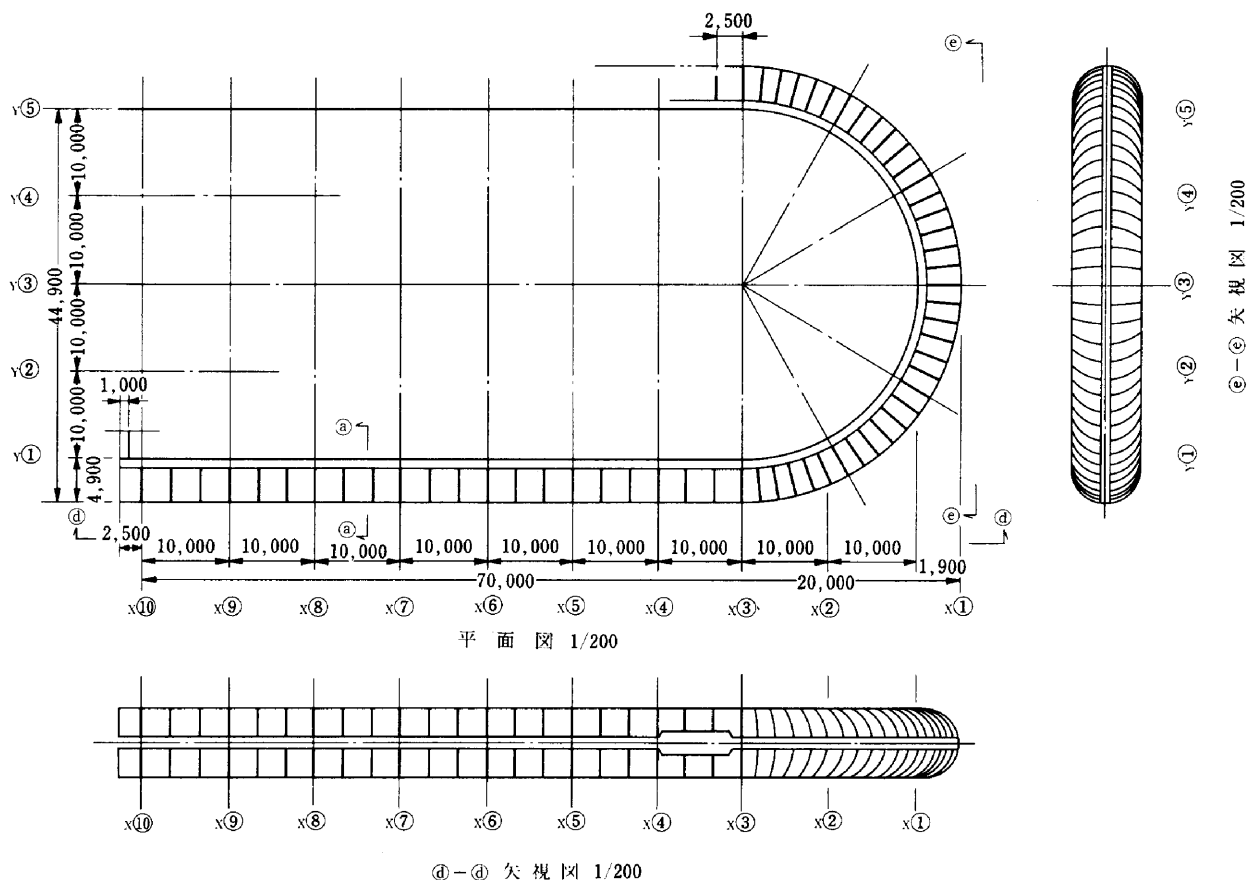
4. クリアー 30μm

内面仕上 1. ステンレススタッドピン(2φ, ℓ=25mm)の上ステンレス亀甲ワイヤー張り

2. アキレスエアロン AR吹付 1回 15mm

3. フォームセラボン吹付 1回 15mm

4. トップコート吹付 2回



*横浜(支)NEC大月(出)所長
**横浜(支)NEC大月(出)

Fig.1

上パネルは下パネルと異なり、支柱等が取付くために地組みを行なった。

その結果、精度及び施工性が共に向上した。

④ 上パネル高さ調整 (Photo 4 参照)

上パネルは工場仮組み立て時点で、構造上自重によるたわみの発生する事が判明していたため、中間ファスナーを20mm上げ気味にセットした。

これによる高さの誤差を、ジャッキ及びベビーサポートにて修正した。

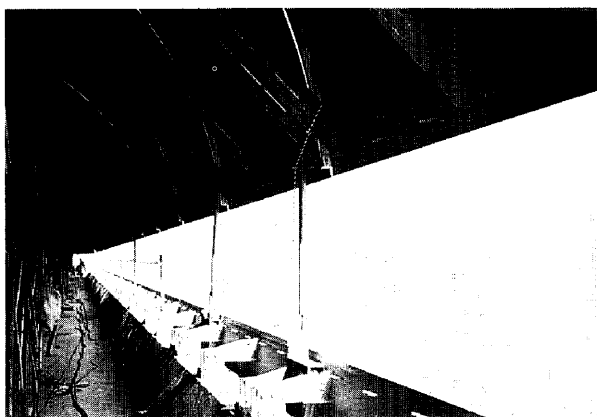


Photo 4 上パネルの高さ調整

⑤ 目違い防止ピース取付 (Photo 5 参照)

上下共、各パネルのたわみ量が若干異なることによるパネル間の目違いを防止するため、目違い防止ピースを取付けた。

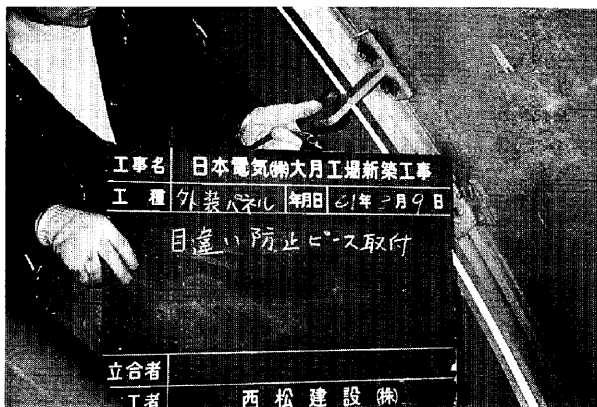


Photo 5 目違い防止ピースの取付

⑥ ENDパネルの取付 (Photo 6 参照)

最後に両端 END 部分のパネルを取付ける。

以上により総パネル数134枚、所要日数18日の建方作業を完了した。



Photo 6 ENDパネルの取付



Photo 7 外観

4. あとがき

当工事は昭和61年4月に竣工したが、今後はほぼ同規模の建物が連続して増築予定されており、今回の実績を今後の工事にも、大いに活用していただきたいと思います。

なお、非常に短い工期の中、当曲面パネルの施工に際し、多くの方々の御理解と御協力を頂いたことを深く感謝致します。